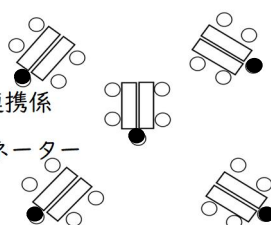


【プログラム3】

テーマ	B 「地域との連携・協働の手順を確認しよう」
ねらい	地域との連携・協働を企画・実施する際の手順について知る。

参加対象	全教職員、地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）	会場レイアウト <アイランド型>  ●生涯学習・地域連携係 or 地域コーディネーター ○学習者
参加人数	全教職員数+地域コーディネーター数	
講師等	地域連携教員、生涯学習・地域連携係	
実施時間	60分	
実施時期	6月	1グループ：4～5名
実施場所	会議室	・学年別、若手・ベテラン混合のグループを事前に設定する。※各グループに生涯学習・地域連携係や地域コーディネーターを一人ずつ配置する。

準備物	<input type="checkbox"/> ワークシート（👉P28） <input type="checkbox"/> タブレット（各自） <input type="checkbox"/> 【資料1】「地域との連携・協働の手順 Q&A」（👉P13、14※データ） <input type="checkbox"/> 【資料2】「地域との連携・協働 相談シート」（👉P15※データ）
-----	--

下のQRコードから事前にデータをダウンロードし、各自タブレットから見られるようにしておくまる！



流れ	内容
アイスブレイク 【10分】	○「どっちを選ぶでショー」（👉P25、28） ・子どもたちの様々な考えや思い、置かれている環境等に寄り添うためには、多様な大人の関わりが必要であることに気付くようにする。
ワーク1：説明 【10分】	○「これでOK～はじめの一步～」 ・地域連携教員、地域コーディネーターの自己紹介を聞く。 ・各自タブレットで【資料1】を見ながら、地域連携教員の説明を聞く。 ☞ボランティア等は、学校のお手伝いさん（サポーター）ではなく、ともに子どもたちを育てていく仲間（パートナー）であることを知る。
ワーク2：説明、体験 【10分】 【15分】	○「やってみましょう～次の一步～」 ①各自タブレットで【資料2】を見ながら、地域連携教員から相談シートの書き方及び使い方の説明を聞く。 ②各グループに配置されている生涯学習・地域連携係や地域コーディネーターがリーダーとなり、実際の活動を一つ例に挙げ、【資料2】をグループでタブレットを使って作成してみる。 ☞ボランティア等への要望だけでなく、“ボランティア等と一緒に活動を作る”意識をもって作成する。 ③作成した②をタブレットで全体に共有しながら発表する。
ふりかえり 【5分】	○「気軽にチャレンジ～地域との連携・協働～」 ・グループで学校と地域の連携・協働活動を行う際の手順を再度確認し合い、今年度中にチャレンジしてみたいことを話す。

【資料1】【資料2】のダウンロードはこちら👉

評価	<input type="checkbox"/> 内容、方法、日時の設定、運営の在り方は適切であったか <input type="checkbox"/> 成果・課題
----	---

